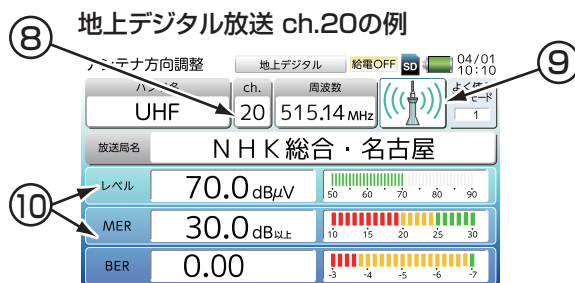
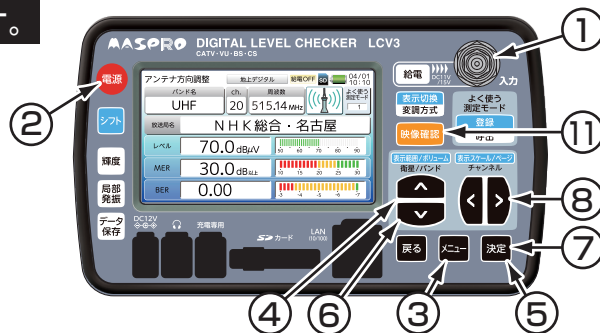


地上デジタル放送用アンテナの方向調整をします。

- ① 入力端子に測定用ケーブルを接続する
 - ② **電源** 押す
 - ③ **メニュー** 押す
 - ④ **↑** で「1.アンテナ方向調整」を選ぶ
 - ⑤ **決定** 押す
 - ⑥ **↑** で「1.地上デジタル」を選び
 - ⑦ **決定** 押す
 - ⑧ **<>** でチャンネルを切替える
 - ⑨ 信号を受信すると、受信確認マーク  を表示します
 - ⑩ レベルとMERの値が最大になるようにアンテナの方向を調整する
- MERの値の目安は**25dB**以上です。
- ⑪ **映像確認** 押す(受信状態を映像で確認できます)
- 受信状態が悪いと、ブロックノイズ(モザイク状のノイズ)が出たり、映像が映らなくなったりします。

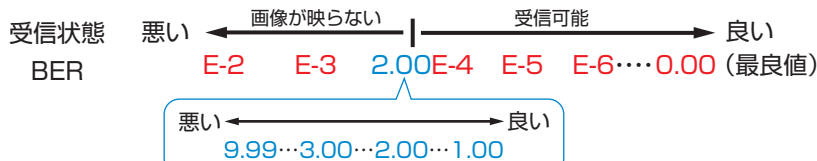


ご注意

アンテナの方向調整後、受信確認マークが表示されても、テレビ端子までの配線によっては、テレビが映らないことがあります。テレビ画面でもご確認ください。

BERの値について

- $2.00\text{E-}4$ (2.00×10^{-4}) 以下であれば受信可能な状態です。
- 0.00であることが、受信良好な状態の目安となります。



地上デジタルの単チャンネル測定 LCV3 操作手順

地上デジタル放送の信号レベルと信号品質を確認します。

① 入力端子に測定用ケーブルを接続する

② **電源** 押す

③ **メニュー** 押す

④ **↑** で「**2.単チャンネル測定**」を選ぶ

⑤ **決定** 押す

⑥ **↑** で「**1.地上デジタル**」を選ぶ

⑦ **決定** 押す

レベル、MER、BERが表示されます。

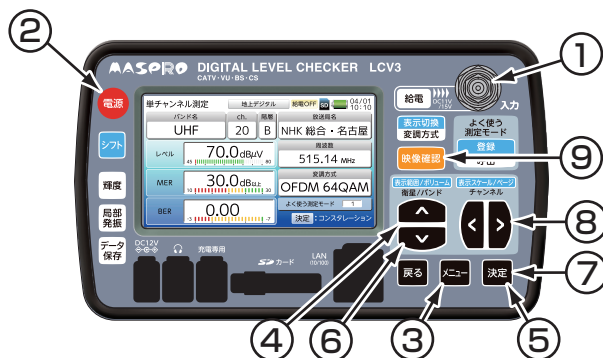
決定 押すたびに、
単チャンネル測定 → コンステレーション
遅延プロファイル ← スペクトラム測定
の順に画面が切り替わります。

⑧ **<>** でチャンネルを切替える

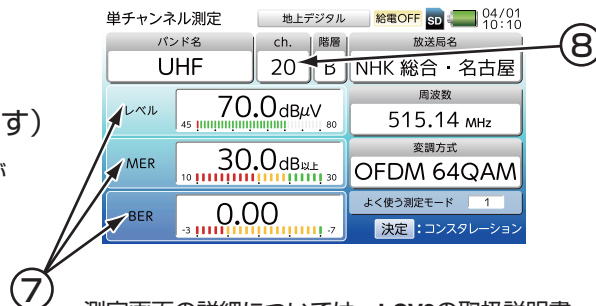
スペクトラム測定と遅延プロファイルでは、チャンネルは切り替わりません。

⑨ **映像確認** 押す(受信状態を映像で確認できます)

受信状態が悪いと、ブロックノイズ(モザイク状のノイズ)が出たり、映像が映らなかったりします。



地上デジタル放送 ch.20の例



測定画面の詳細については、**LCV3**の取扱説明書(p.30～36)をご覧ください。

VHF・UHF・CATV・LTE チャンネル表

●VHF

チャンネル 番	周波数範囲 (MHz)	中心周波数 (MHz)
1	90～96	93
2	96～102	99
3	102～108	105
4	170～176	173
5	176～182	179
6	182～188	185
7	188～194	191
8	192～198	195
9	198～204	201
10	204～210	207
11	210～216	213
12	216～222	219

●ミッドバンド

チャンネル 番	周波数範囲 (MHz)	中心周波数 (MHz)
C13	108～114	111
C14	114～120	117
C15	120～126	123
C16	126～132	129
C17	132～138	135
C18	138～144	141
C19	144～150	147
C20	150～156	153
C21	156～162	159
C22	164～170	167

●スーパーハイバンド

チャンネル 番	周波数範囲 (MHz)	中心周波数 (MHz)
C23	222～228	225
C24	228～234	231
C25	234～240	237
C26	240～246	243
C27	246～252	249
C28	252～258	255
C29	258～264	261
C30	264～270	267
C31	270～276	273
C32	276～282	279
C33	282～288	285
C34	288～294	291
C35	294～300	297
C36	300～306	303
C37	306～312	309
C38	312～318	315
C39	318～324	321
C40	324～330	327
C41	330～336	333
C42	336～342	339
C43	342～348	345
C44	348～354	351
C45	354～360	357
C46	360～366	363
C47	366～372	369
C48	372～378	375
C49	378～384	381
C50	384～390	387
C51	390～396	393
C52	396～402	399
C53	402～408	405
C54	408～414	411
C55	414～420	417
C56	420～426	423
C57	426～432	429
C58	432～438	435
C59	438～444	441
C60	444～450	447
C61	450～456	453
C62	456～462	459
C63	462～468	465

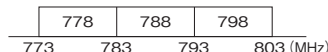
●UHF ※2

チャンネル 番	周波数範囲 (MHz)	中心周波数 (MHz)
13	470～476	473
14	476～482	479
15	482～488	485
16	488～494	491
17	494～500	497
18	500～506	503
19	506～512	509
20	512～518	515
21	518～524	521
22	524～530	527
23	530～536	533
24	536～542	539
25	542～548	545
26	548～554	551
27	554～560	557
28	560～566	563
29	566～572	569
30	572～578	575
31	578～584	581
32	584～590	587
33	590～596	593
34	596～602	599
35	602～608	605
36	608～614	611
37	614～620	617
38	620～626	623
39	626～632	629
40	632～638	635
41	638～644	641
42	644～650	647
43	650～656	653
44	656～662	659
45	662～668	665
46	668～674	671
47	674～680	677
48	680～686	683
49	686～692	689
50	692～698	695
51	698～704	701
52	704～710	707
53	710～716	713
54	716～722	719
55	722～728	725
56	728～734	731
57	734～740	737
58	740～746	743
59	746～752	749
60	752～758	755
61	758～764	761
62	764～770	767

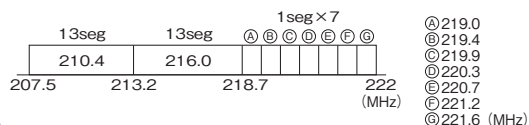
●BSパススルー

チャンネル 番	周波数範囲 (MHz)	中心周波数 (MHz)
A	235.34～271.34	253.34
B	273.7～309.7	291.7
C	312.06～348.06	330.06
D	350.42～386.42	368.42
E	388.78～424.78	406.78
F	427.14～463.14	445.14
G	465.5～501.5	483.5
H	503.86～539.86	521.86
I	542.22～578.22	560.22
J	580.58～616.58	598.58
K	618.94～654.94	636.94
L	657.3～693.3	675.3
M	695.66～731.66	713.66
N	734.02～770.02	752.02

LTE (700MHz・下り帯域のみ)



マルチメディア放送 (V-High放送)



●マルチメディア放送は、これ以外のチャンネル配列も存在します。

※1 デジタル伝送での有線一般放送の品質に関する技術基準を定める省令によるテレビチャンネルの割当てです。

※2 地上デジタル放送の場合、放送波の中心周波数は、中心周波数から③0.14MHzオフセットします。

BS・CSチャンネル表

BS・110°CS

右旋 円偏波	1049.48	1087.84	1126.20	1164.56	1202.92	1241.28	1279.64	1318.00	1356.36	1394.72	1433.08	1471.44		1613	1653	1693	1733	1773	1813	1853	1893	1933	1973	2013	2053	(MHz)
	1	3	5	7	9	11	13	15	17	19	21	23		2	4	6	8	10	12	14	16	18	20	22	24	

BS (BSAT)

110°CS (N-SAT-110)

スカパー!プレミアム

局部発振周波数11.2GHz

JCSAT-3A

垂直 偏波	1068 [K-1 JD17]	1108 [K-3 JD19]	1148 [K-5 JD21]	1188 [K-7 JD23]	1228 [K-9 JD25]	1268 [K-11 JD27]	1308 [K-13 JD1]	1338 [K-15 JD3]	1368 [K-17 JD5]	1398 [K-19 JD7]	1428 [K-21 JD9]	1458 [K-23 JD11]	1488 [K-25 JD13]	1518 [K-27 JD15]	
水平 偏波	[K-2 JD18]	[K-4 JD20]	[K-6 JD22]	[K-8 JD24]	[K-10 JD26]	[K-12 JD28]	[K-14 JD2]	[K-16 JD4]	[K-18 JD6]	[K-20 JD8]	[K-22 JD10]	[K-24 JD12]	[K-26 JD14]	[K-28 JD16]	
	1088	1128	1168	1208	1248	1288	1323	1353	1383	1413	1443	1473	1503	1533	

JCSAT-4B

垂直 偏波	1068 [K-1 JD17]	1098 [K-3 JD19]	1128 [K-5 JD21]	1158 [K-7 JD23]	1188 [K-9 JD25]	1218 [K-11 JD27]	1248 [K-13 JD29]	1278 [K-15 JD31]	1308 [K-17 JD1]	1338 [K-19 JD3]	1368 [K-21 JD5]	1398 [K-23 JD7]	1428 [K-25 JD9]	1458 [K-27 JD11]	1488 [K-29 JD13]	1518 [K-31 JD15]
水平 偏波	[K-2 JD18]	[K-4 JD20]	[K-6 JD22]	[K-8 JD24]	[K-10 JD26]	[K-12 JD28]	[K-14 JD30]	[K-16 JD32]	[K-18 JD2]	[K-20 JD4]	[K-22 JD6]	[K-24 JD8]	[K-26 JD10]	[K-28 JD12]	[K-30 JD14]	[K-32 JD16]
	1083	1113	1143	1173	1203	1233	1263	1293	1323	1353	1383	1413	1443	1473	1503	1533

局部発振周波数10.678GHz

JCSAT-3A

垂直 偏波	1590 [K-1 JD17]	1630 [K-3 JD19]	1670 [K-5 JD21]	1710 [K-7 JD23]	1750 [K-9 JD25]	1790 [K-11 JD27]	1830 [K-13 JD1]	1860 [K-15 JD3]	1890 [K-17 JD5]	1920 [K-19 JD7]	1950 [K-21 JD9]	1980 [K-23 JD11]	2010 [K-25 JD13]	2040 [K-27 JD15]	
水平 偏波	[K-2 JD18]	[K-4 JD20]	[K-6 JD22]	[K-8 JD24]	[K-10 JD26]	[K-12 JD28]	[K-14 JD2]	[K-16 JD4]	[K-18 JD6]	[K-20 JD8]	[K-22 JD10]	[K-24 JD12]	[K-26 JD14]	[K-28 JD16]	
	1610	1650	1690	1730	1770	1810	1845	1875	1905	1935	1965	1995	2025	2055	

JCSAT-4B

垂直 偏波	1590 [K-1 JD17]	1620 [K-3 JD19]	1650 [K-5 JD21]	1680 [K-7 JD23]	1710 [K-9 JD25]	1740 [K-11 JD27]	1770 [K-13 JD29]	1800 [K-15 JD31]	1830 [K-17 JD1]	1860 [K-19 JD3]	1890 [K-21 JD5]	1920 [K-23 JD7]	1950 [K-25 JD9]	1980 [K-27 JD11]	2010 [K-29 JD13]	2040 [K-31 JD15]
水平 偏波	[K-2 JD18]	[K-4 JD20]	[K-6 JD22]	[K-8 JD24]	[K-10 JD26]	[K-12 JD28]	[K-14 JD30]	[K-16 JD32]	[K-18 JD2]	[K-20 JD4]	[K-22 JD6]	[K-24 JD8]	[K-26 JD10]	[K-28 JD12]	[K-30 JD14]	[K-32 JD16]
	1605	1635	1665	1695	1725	1755	1785	1815	1845	1875	1905	1935	1965	1995	2025	2055

●スカパー!プレミアムは、スカパー!プレミアムサービスの略です。

その他の衛星

スーパーバード C2

局部発振周波数 11.2GHz

垂直 偏波	1085	1115	1150	1190	1230	1270	1308	1338	1368	1398	1428	1458	1488	1518	(MHz)
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	
水平 偏波	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	
	1085	1115	1150	1190	1230	1270	1323	1353	1383	1413	1443	1473	1503	1533	

局部発振周波数 10.678GHz

垂直 偏波	1607	1637	1672	1712	1752	1792	1830	1860	1890	1920	1950	1980	2010	2040	(MHz)
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	
水平 偏波	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	
	1607	1637	1672	1712	1752	1792	1845	1875	1905	1935	1965	1995	2025	2055	

BS・110°CS／スカパー!プレミアム!のアンテナ方向調整

BS・110°CSまたはスカパー!プレミアム!サービス用アンテナの方向調整をします。

スカパー!プレミアム!サービスの1衛星のみ受信するアンテナの方向調整は、LCV3取扱説明書の「スカパー!プレミアム!サービスの1衛星受信用CSアンテナの方向調整」(p.28)をご覧ください。

① 入力端子に測定用ケーブルを接続する

② **電源** 押す

③ **メニュー** 押す

④ **↑** で「1.アンテナ方向調整」を選ぶ

⑤ **決定** 押す

⑥ **↑** で

「2.BS・110°CS」、「3.スカパー!プレミアム!

のどちらかを選ぶ

⑦ **決定** 押す

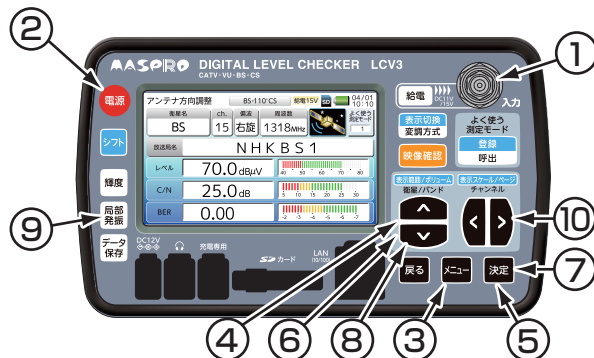
レベル、C/N、BERが表示されます。

⑧ BS・110°CSの場合、**↑** で衛星名を切替える

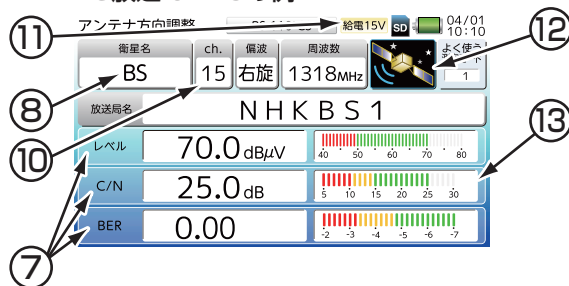
⑨ **局部発振** で局部発振周波数を切替える

- BS、110°CSでは切替わりません。
- スカパー!プレミアム!の場合、局部発振周波数は、通常11.2GHzまたは10.678GHzです。

⑩ **<>** でチャンネルを切替える



BS放送 ch.15の例



●スカパー!プレミアム!は、スカパー!プレミアム!サービスの略です。

LCV3 操作手順

⑪ 給電 押す(衛星アンテナへ電源供給します)

電源供給しているときは、「オート11V」、「オート15V」、「固定15V」、「固定11V」のいずれかが表示されます。

- オートの場合は、測定状態を判断し、11Vまたは15Vを自動で切替えます。

ご注意

ケーブルを接続してから、アンテナに電源供給してください。ショートした場合、過電流保護回路が作動して測定できなくなります。

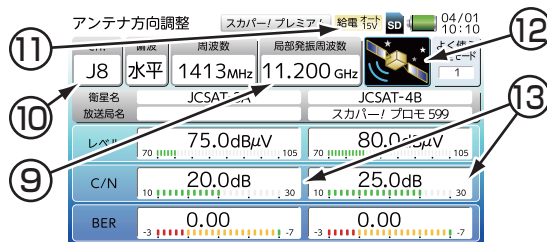


⑫ 信号を受信すると、受信確認マークを表示します

⑬ C/Nの値が最大になるようにアンテナの方向を調整する

- C/Nの値の目安は
BS: **17dB**以上、110°CS: **11dB**以上
スカパー!プレミアム: **10dB**以上です。
- BERの値については、「BERの値について」(p.1)をご覧ください。
- スカパー!プレミアムは、JCSAT-3A、JCSAT-4BのC/Nの値が、できるだけそろえます。

スカパー! プレミアム ch.J8の例



⑭ 映像確認 押す(受信状態を映像で確認できます)

- 有料放送は映像表示できません。
- スカパー!プレミアムは、プロモチャンネル(ch.J11、ch.J8)の映像を表示します。
[で他の衛星(サービス)の映像も確認してください]
- 受信状態が悪いと、ブロックノイズ(モザイク状のノイズ)が出たり、映像が映らなかったりします。

ご注意

- スカパー!プレミアムサービス用アンテナの方向調整で、JCSAT-3A、JCSAT-4B以外の衛星を受信しても受信確認マークが表示されることがあります。他のチャンネルに切替えても受信確認マークが出ることを必ず確認してください。
- テレビやチューナーの種類によっては、受信確認マークが表示されても、テレビが映らないことがあります。アンテナの方向調整後、テレビ画面でも確認してください。

- スカパー!プレミアムは、スカパー!プレミアムサービスの略です。

BS・110°CS／スカパー!プレミアムの単チャンネル測定

BS・110°CS放送またはスカパー!プレミアムサービスの信号レベルと信号品質を確認します。

① 入力端子に測定用ケーブルを接続する

② **電源** 押す

③ **メニュー** 押す

④ **↑/↓** で「**2.単チャンネル測定**」を選ぶ

⑤ **決定** 押す

⑥ **↑/↓** で

「**3.BS・110°CS**」、「**4.スカパー!プレミアム**」

のどちらかを選ぶ

⑦ **決定** 押す

レベル、C/N、BERが表示されます。

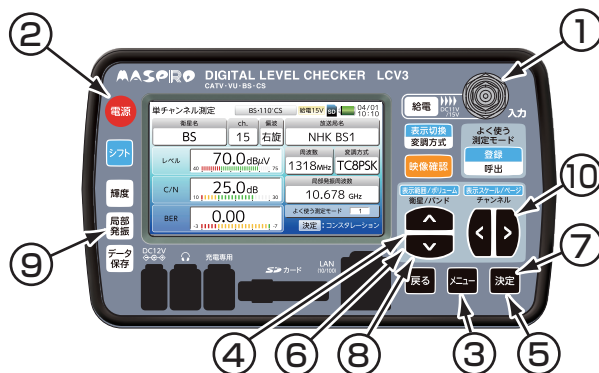
⑧ **↑/↓** で衛星名を切替える

BSはBS、110°CSはN-SAT110を選ぶ。
スカパー!プレミアムはJCSAT-3A、JCSAT-4Bを選ぶ。

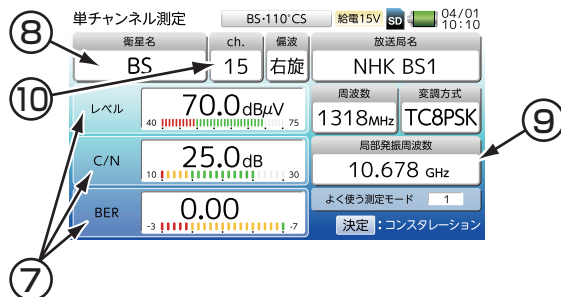
⑨ **局部発振** で局部発振周波数を切替える

- BS、110°CSでは切り替わりません。
- スカパー!プレミアムの場合、局部発振周波数は、通常11.2GHzまたは10.678GHzです。

⑩ **←/→** でチャンネルを切替える



BS放送 ch.15の例



●スカパー!プレミアムは、スカパー!プレミアムサービスの略です。

LCV3 操作手順

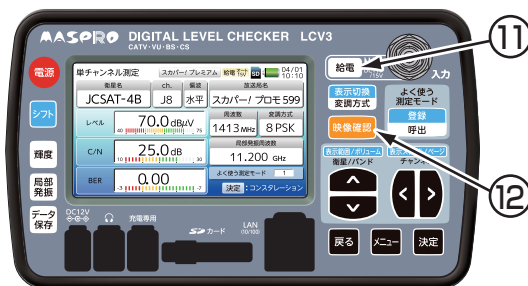
⑪ 給電 押す(衛星アンテナへ電源供給します)

電源供給しているときは、「オート11V」、「オート15V」、「固定15V」、「固定11V」のいずれかが表示されます。

- オートのときは、測定状態を判断し、11Vまたは15Vを自動で切替えます。

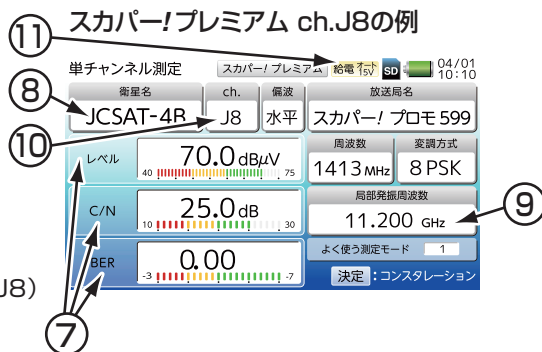
ご注意

- ケーブルを接続してから、アンテナに電源供給してください。ショートした場合、過電流保護回路が作動して測定できなくなります。
- マンションなど共同受信の壁面テレビ端子に接続する場合、電源供給を「OFF」にしてください。



⑫ 映像確認 押す(受信状態を映像で確認できます)

- 有料放送は映像表示できません。
- スカパー! プレミアムは、プロモチャンネル(ch.J11、ch.J8)の映像を表示します。
[] で他の衛星(サービス)の映像も確認してください]
- 受信状態が悪いと、ブロックノイズ(モザイク状のノイズ)が出たり、映像が映らなくなったりします。



- スカパー! プレミアムは、スカパー! プレミアムサービスの略です。